

手軽に作れる「合唱練習用マスク」

合唱ピアニスト・作曲家 木村恵理

地域によっては徐々に合唱練習も再開されつつありますが、練習時には飛沫防止にマスクを着用されることと思いますが、ご自分で工夫したマスクを縫っている方もおられます。ネットなど見ていると、クリーナーの大きな空ボトルやお菓子の空き箱を口にあてがっているものもあり思わず笑ってしまうのですが、そこから新たなアイデアが生まれることもしばしば。皆さんの工夫に感心するばかりです。東京混声合唱団も歌えるマスク(1枚1,430円：税込)、(株)奥山も「歌えマスク」(最高性能で10枚22,000円：税込)を販売していますが、なるべく手軽に、それも裁縫経験がなくても作れるマスクはできないかと試行錯誤の日々が続きました。

まずはホームセンター等に売られている「庭仕事用の日よけ」を参考。裁縫に慣れている方にはよいかもしいが…製作の手軽さは△。



マウスシールドにするマスク。大きめのマスクを作って着けたのだが、重い、息苦しい、煩わしいだけだった。



鼻脇と鼻筋にもプラスチック板を付け、プラ板の幅も変えて試す。何度も顔にあてて試すうち「もしかしたら鼻の部分に何らかの物で高さをつければ呼吸の空間を確保できるのでは」と。



そこで、鼻ワイヤーのすぐ下あたりに1cm

程に切ったスポンジをくっつけた。これにより布が持ち上がることで呼吸空間をあけることができ、なかなか快適。

そして、スポンジを付けなくても布にタック(ひだ)を寄せることで同じ効果が出るのではないかと。タックを寄せる位置も、着用時に頬と鼻の高低差を埋める位置だとフィットしやすい。裁縫未経験でも手縫いで簡単に作ることができ、材料も全て100円ショップで揃えられる手軽さもクリア。

それでは、私が考案した合唱練習用マスクの作り方をざっとご紹介します。生地はハンドタオルと布の2パターンですが、ハンドタオルの方がより簡単です。まち針がなければ洗濯バサミでもよいし、縫い方も自己流でOK!

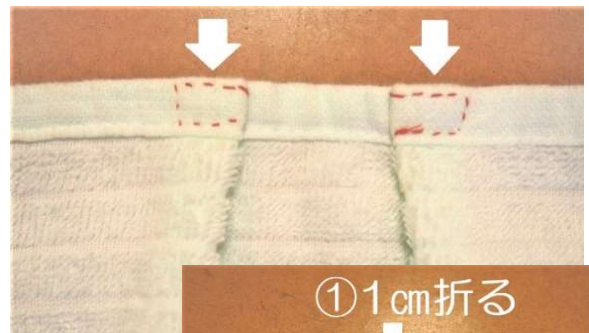
<ハンドタオル編>

①頬と鼻の高さを埋める位置(マスクした時ノーズワイヤーを押さえてフィットさせる部分)にタックを寄せます。タックは少しハの字にすると鼻の形に添います。



↑ ↑
タックを寄せる

②タックで布の重なっている上部1cmあたりを縫う。



③耳ゴムを通す部分を縫う。横を1cm内側に折り、上から4cmくらいを縦に縫う。



④ゴムを通したら完成！



***縫わない！即席の作り方**

鼻のタック部分はクリップやヘアピンなどで、耳ゴムを通す部分は安全ピンやクリップなどで留めるだけ！



< 布 編 >

要領はハンドタオル編と同じ。

①布の場合は、タオルより生地が薄いためタックを左右2本ずつ寄せる。



②上部1cmを内側に折り、端から端まで縫う。中にノーズワイヤーを差し込み、中央に配置。



③ハンドタオル同様、耳ゴムを通す部分を縫ったら完成！

完成！



歌唱・合唱練習用マスクとしては簡易であり、精巧なものではないかもしれませんが、参考になれば幸いです。

★今回の手軽に作れるマスクをよりわかりやすく詳しく説明した動画はYoutubeにてご覧いただけます。

【歌える！呼吸が楽！合唱練習に使えるマスクの作り方】

<https://youtu.be/fkh99Um0uRg>



木村 恵理 Kimura Eri プロフィール



合唱、バレエスタジオのピアニスト。またチェンバロ奏者としても大阪国際音楽コンクール第1位、ソリスト・通奏低音奏者として活動。東京国際芸術協会「全日本作曲家コンクール」歌曲および合唱部門に入選。合唱団グリーン・エコー(名古屋)委嘱作品の他、合唱編曲作品多数。最近では写本でルネサンス・ポリフォニーを歌うスコラ・ポリフォニカ名古屋に参加。名古屋音楽大学授業補助員。

【編集部より】

歌うためのマスクはどうあるべきか、今では少しずつ見えてきましたが、木村恵理さんはそんな中で、試行錯誤を繰り返しながらちょっとでも快適なものをどうやったら「手作り」できるか、いろいろチャレンジしています。その熱意は敬服に値します。

縫物の得意な方、裁縫男子はぜひ挑戦してみてください。みなさんの創意工夫が積み重なればさらに歌い易いマスクに進化するものと思います。但し、マスクの機能を損なわないことは必須条件です。